五代の子

合言葉「かしこく　やさしく　たくましく　礼儀正しい五代の子」

五代小　学校だより
令和６年　６月２５日
宇都宮市立五代小学校
校長　林田　浩二

地域とともに育つ「五代の子」

五代小学校の子供たちは、地域の方々に見守られ、元気に生活しています。少子化、核家族化、高齢化が進む現在の社会状況では、どんどん人間関係が希薄になっていると言われています。また、コロナ禍では、人との接触をあえてしないように行動していたことで、コロナが明けた今でも「人とのかかわり」が少なくなっているように感じます。

そんな中でも、五代小学校（若松原地域学校園）では、子供の健全育成や地域活性などを考え、小中学校で連携した「あいさつ運動」や、自治会とＰＴＡが協力して行う「五代夏祭り」など様々な行事が計画・実行されています。本当にありがとうございます。

学校は「人とのかかわり」を学ぶ場だと考えています。子育て（教育）を学校任せ、家庭任せにするのではなく、ＰＴＡ、地域の方々、関係機関など、一体となって五代の子を育てていきたいと考えています。

＜ＷＧＳあいさつ運動＞　ＷＧＳ…若松原(Ｗ)、五代(Ｇ)、新田(Ｓ)の略称

若松原中学校の生徒のみなさんが五代小に来て、一緒に「あいさつ運動」を行いました。

昇降口には元気なあいさつが飛び交い、小学生もいつも以上に大きな声で「おはようございます」とあいさつをしていました。そんな元気なあいさつが、学校だけでなく地域の方々にもできるようになるといいですね。





＜若松原地域未来会議＞

若松原中学校地域協議会の一環として開かれた「地域未来会議」。SDGｓの目標の「住み続けるまちづくり」をテーマに、生徒会代表と地域の方々との協議を通して自分たちにできることを考えていく。という企画でした。中学生からは「あいさつの推進」「公園のゴミを減らす」ための取り組みが発表されました。今回は「中学生ができること」が中心でしたが、五代小の子供たちにも大いに関係することだと感じました。地域に愛着をもち、自分だけでなく、家族、友達、地域の方々…自分たちの住んでいるまちを大切にする心を育てていきたいですね。





6/19 五代夏祭り実行委員では、コロナで４年間中止になっていた「五代夏祭り」の再開について話し合われました。PTA も自治会も、子供たちのため、地域の活性化のために再開したいという思いは同じで熱いものを感じました。今年度は準備期間が短いことから中止として、来年度の開催に向けて協議を進めていくことなりました。来年の夏祭りが今から楽しみですね。

